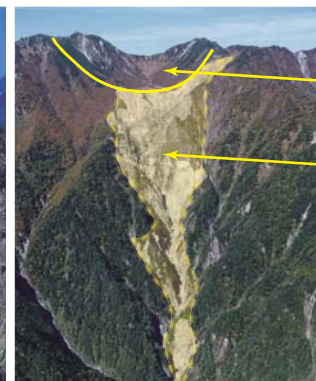
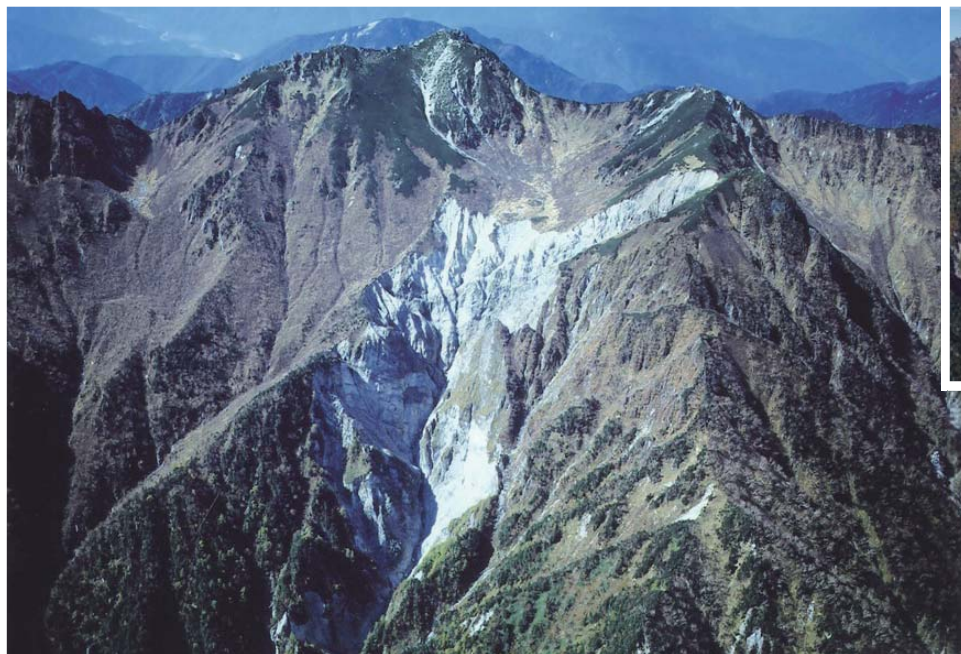


# ひやっけん 百間ナギ／ひやっけん 百間ナギのビューポイント

国内屈指の崩壊壁

与田切川の源流部に存在する「百間ナギ」と呼ばれる大崩壊地は、すり鉢窪カールによるモレーン堆積物の砂礫が日夜崩れている。礫層の厚さは60mに達し、現在も常に土砂の流出が続いている。道の駅・花の里いいじま付近など、盆地一帯から大崩壊地を望むことができる。伊那谷は、盆地底から氷河地形を望むことができる、わが国唯一の場所。



すり鉢窪カール  
百間ナギ



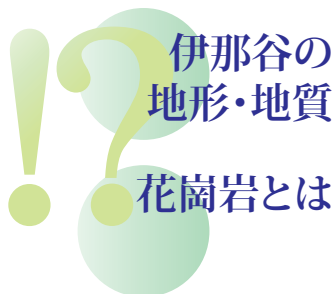
## information

### □ アクセス

(道の駅  
花の里いいじま)  
松川ICから5km  
車→10分

### □ 所在地

飯島町



伊那谷の  
地形・地質

花崗岩とは

伊那谷は、東西を急峻な山脈に囲まれている上に、構成する地質が花崗岩類や片麻岩といった風化を受けやすい岩石が多い上、山の起伏が大きいため、崩壊地が多く分布している。

花崗岩は結晶粒子が大きく、かつ鉱物結晶の熱膨張率が異なるため、温度差の大きい所では表面がぼろぼろになりやすい(風化しやすい)。

風化が進むと非常にもろく崩れやすくなる。



(国土地理院の数値地図25000(地図画像)を使用)